

平成30年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 東京都立府中高等学校 学校運営連絡協議会 (全日制課程)

(2) 事務局の構成 主幹教諭 (総務主任兼務) = 事務局長、経営企画室長 計2名

(3) 内部委員の構成

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| ・ 校長 | ・ 副校長 | ・ 経営企画室長 |
| ・ 主幹教諭 (教務担当) | ・ 主幹教諭 (生活指導担当) | ・ 主幹教諭 (進路指導担当) |
| ・ 主幹教諭 (総務担当) | ・ 主幹教諭 (保健環境担当) | ・ 第1学年主任 (主任教諭) |
| ・ 第2学年主任 (主任教諭) | ・ 第3学年主任 (主幹教諭) | 計11名 |

(4) 協議委員の構成

- ・ P T A会長
- ・ 前P T A会長
- ・ 同窓会長
- ・ 府中市立府中第五中学校長 (近隣中学校長)
- ・ 府中市教育委員会指導主事 (有識者)
- ・ サントリー武蔵野工場長 (地域)
- ・ 栄町三丁目さつき会 (近隣自治会長)
- ・ 栄町三丁目清栄会 (近隣自治会長) 以上8名

2 平成30年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会 (1回～3回) の開催日、出席者、主な内容、その他

- 第1回 平成30年5月15日 (火) 内部委員11名、協議委員7名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営報告 (前年度)、
学校経営計画、学校概況及び課題等説明、意見交換
- 第2回 平成30年10月17日 (水) 内部委員9名、協議委員6名
これまでの学校教育活動に関する報告と意見交換、
学校評価 (含学校評価アンケート) の内容検討及び協議
- 第3回 平成30年12月3日 (月) 内部委員5名、協議委員3名
これまでの学校教育活動に関する報告と意見交換、
学校評価の報告及び学校運営に関する協議
次年度に向けた方向性の確認

(2) 評価委員会の開催日、出席者、主な内容、その他

- 第1回 平成30年10月17日 (水) 内部委員4名、協議委員3名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果について、
今年度の学校評価の実施に向けた検討 (含学校評価アンケート)
- 第2回 平成30年12月3日 (月) 内部委員4名、協議委員2名
アンケート結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の視点

「学校への満足度」「学校の取組」「学力の向上」「開かれた学校づくりの状況」及び「学校への理解」等の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

時期	対象	配付数（枚）	回収数（枚）	回収率（％）
1 1 月	生徒	8 2 3	7 6 5	9 3
1 1 月	保護者	8 2 3	4 4 5	5 4
1 1 月	地域住民	5 6	2 5	4 5
1 2 月	教職員	4 5	4 3	9 7

(3) 主な評価項目

学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、学校生活満足度及びライフ・ワーク・バランス（教職員のみ新設）などに係る項目

(4) 評価結果の概要

- ・平成26年度から平成30年度まで、同一項目でアンケートを実施したため、5年間の経年変化をみることができるようまとめた。
- ・全体として肯定的回答が多く、否定的な回答は僅少であり、概ね良好。

(5) 調査結果の分析と考察

- ・学習指導…授業の満足度は上昇傾向であるが、家庭学習時間が伸びない傾向にあり、今後改善が求められる。生徒による授業評価等を積極的に活用して、授業改善を行い、生徒の主体的かつ積極的な学びの支援ができるよう取り組む必要がある。
- ・進路指導…四年制大学への進路希望が上昇しており、進路指導体制や情報提供方法を工夫・改善したことが結果に表れている。今後は、将来を見据えた自己実現のための指導を一層充実させる必要がある。
- ・生活指導…平成25年度に標準服を導入して5年が経過し、生活習慣やマナー、服装（含装飾品等）が改善されている。身だしなみ指導と基本的な生活習慣を身につけさせる指導を次の段階に発展させることが課題である。安全指導も含め、登下校のマナーの向上を図り、地域貢献を目に見える形にしていく必要がある。
- ・学校行事…満足度は年々高まっている。生徒の自主自律の精神が発揮できるよう、さらに指導の質の向上を目指すよう取り組む必要がある。
- ・部活動…第1学年での全員加入を実施して5年が経過し、活動が活発化するとともに熱心に取り組んでいる生徒が年々増加している。一層の活性化と、学習面との両立を図れるよう指導が必要である。
- ・教育相談…スクールカウンセラー、学級担任、養護教諭等が連携して、丁寧な相談を実施している効果が表れている。
- ・その他…体罰撲滅への取り組みには、一定の成果が表れている。学校としての取り組み状況について周知を図る必要がある。ライフ・ワーク・バランスを意識して実現を図っている教職員は三分の2程度であり、一層の意識づけや仕事の進め方、業務の効率化に向けて学校全体として取り組む必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・協議委員からの意見には有益なものが多かった。
- ・学校としての改善点や着目点のうち、協議委員からの意見で新たな発見があった。
- ・教育活動の成果が着実に上がっているとの評価を得ることができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・本校の教育活動を具体的に理解していただくことができた。
- ・近隣住民の関心は、学校教育活動より生徒の変貌である。教育活動の理解促進を図りながら、日常的な生徒指導を大切にすることが必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校経営

- ・高等学校卒業後の進路先だけでなく、将来のキャリアに結びつく進路指導および学力向上について校内研修を重ね、生徒の期待に応える。
- ・学力向上をめざし、各教科主任を中心とした教科内研修をより充実・発展させる。
- ・OJTを組織的に取り組み、若手教員の育成を図りながら、生徒及び保護者からの期待に応える。
- ・生徒募集活動や学校広報活動を積極的に実施し、地域に発信する機会を増やす。

(2) 学習活動

- ・学カスタンダードの取組を充実・発展させ、組織的な学習指導として構築する。
- ・家庭学習の習慣を身に付けさせるために、各教員が日常的に授業改善に取り組み、意識の定着を図る。
- ・生徒の主体的な学びの促進を図ることができるよう授業展開について研究する。
- ・生徒による授業評価を定期的実施、かつ結果を教科内や校内で共有し、授業改善を図る。
- ・習熟度別少人数による授業を通じて、学力向上を図る。

(3) 進路指導

- ・進路指導部が3年間の進路計画を策定し、進路行事や模擬試験を企画・実施する。
- ・ケース会議等を充実させ、情報共有を積極的に図る。
- ・進路希望調査や模擬試験、そして計画的な生徒・保護者との面談により、生徒の進路希望を把握し、データを蓄積・管理し、学校全体での定期的なケース会議を実施し、より高い目標に向けた進路実現を図る。また、学年との連携を強化する。
- ・進路指導室の整理・整頓を徹底し、収集した資料を生徒の個別指導に十分活用できる環境を整える。

(4) 生活指導

- ・基本的生活習慣の確立及び向上のため、組織的に指導を行う。
- ・日常生活において、高校生が学校生活を送るにふさわしい身だしなみ（標準服の着こなし、髪型染色・加工、化粧、装飾品等）の指導を定期的に徹底する。
- ・アルバイトの禁止、生活態度やマナー向上の指導を集会等を活用して実施する。

- ・授業規律の徹底・確保について全教員が共通認識のもと取り組む。

(5) 特別活動

- ・第1学年の部活動全員加入を継続し、第2学年以降の部活動加入率を向上させ、運動部、文化部ともに活性化を図る。
- ・生徒の期待に応えるために、指導体制を整える。そのために、外部指導員の効果的活用や中学校との部活動交流、中学生対象の活動見学会等を実施する。
- ・学校行事（文化祭、体育祭、合唱祭等）では、生徒の自主性や連帯意識を深め、社会的自立や社会貢献を念頭に置いた体験活動となるよう計画的に指導し、生徒が主体的に企画運営できるよう支援を強化する。
- ・学校行事については、アンケート結果を分析するなど検討を行い、生徒、保護者、地域の期待に応える行事に発展させる。
- ・生徒会活動を充実させるために、各委員会活動をきめ細かく指導し、学校生活を充実させる。

(6) その他（健康・安全）

- ・特別支援教育の充実を目指し、スクールカウンセラーを活用した教育相談体制を整え、安心して学校生活を送ることができる環境整備を行う。
- ・保健委員会活動の活性化により、生徒の健康づくりを推進する。
- ・交通安全教室の実施、登下校の安全指導、自転車通学生徒の届出制とステッカー貼付による自転車管理、定期的な駐輪指導を実施する。
- ・セーフティ教室においては、安全教育三要素（生活安全、災害安全、交通安全）を定期的実施する。また、SNS利用における指導は、日常的に行う。
- ・薬物乱用防止指導の充実を図る。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答(欠席)
3						5

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】 なし

8 その他

- ・マークカードを導入し、アンケート集計の効率化を図った。
- ・アンケート結果は、経年変化による分析を可能なものとした。
- ・保護者のアンケート回収率を高めるために、PTAの協力を得て、連絡網メールシステムを利用して周知を図った。